

# わたしの家の近くの古びん

1



前方後円  
びん

中島  
おたし  
同じ名前

山王小学校

3年中島 帆乃香

# 1 「自由石研究」のきっかけ

少し前に新聞にのっていた、おたしがすんでいる西ぜん町のいせきのきじが出ていました。

気になって、さ、そく重カ画を見てみました。そしたらおたしのお家もほんの少いうつっていました。平安時代の田んぼの形が見つかたそうです。田んぼのあぜ道がたくさん見えまいた。あぜ道のほかに、馬や人の足あとがのこされていたようです。こんな近くにいせきがあってビックリしました。

夏休みに入って、「東国文化自由研究」のしゅくだいが出されたので、家の近くの古ふんやはにちを言調べて見ようと思いました。

## 2 家の近くの古ふん地図 ⑤

⑥ 言訳

④ 八まん山 古ふん

④ 天ネ申山 古ふん

おたしの、住んでいる近くに、いっぱい古ふんがあることが、分かりました。

そのうちの一つの山王金かみづか古ふんは、くきりとしたかぎあなみたいな

形でした。古ふんと言われると、おたしはかぎのあなの形をしたものがまず一番い、出てきます。この形が前方後円ふんだと学びました。古ふんのことをぜんぜん知らない

③ かみづか山 古ふん

おたしがはじめてこの言葉のお山王金かみづかかぎで古ふんのものしりい、し近づけたと思いました。

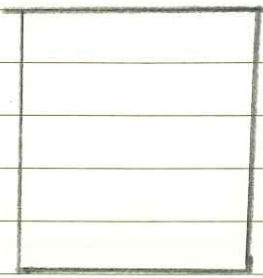
② 山王金かみづか 古ふん

① おみだ山 古ふん、もんじゃ山 古ふん

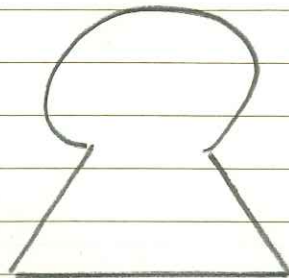
① 白たく

### 3 古ふんの開きの名前

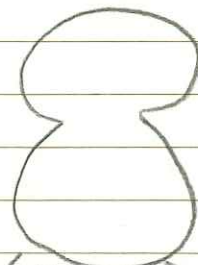
わたしは、古ふんの開きの名前を一つも知りませんでした。  
そこで、分かりやすく言周べて見ることになりました。



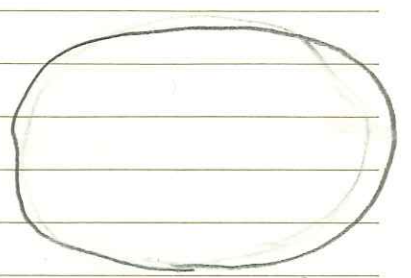
(方ふん)



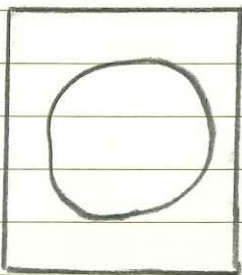
(帆立貝形古ふん)



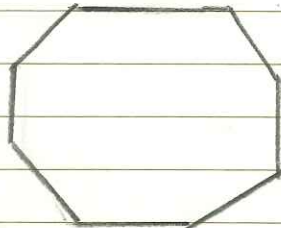
(ろ円ふん)



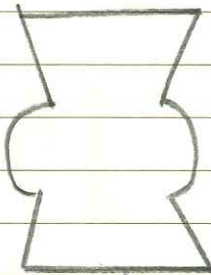
(円ふん)



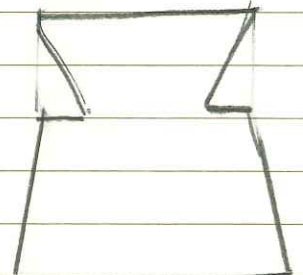
(上円下方ふん)



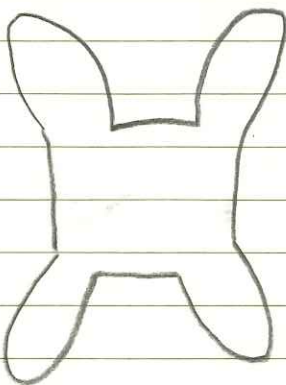
(八角ふん)



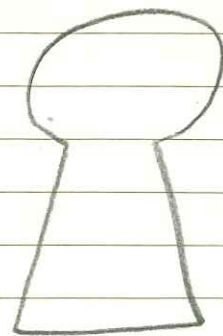
(ろ方中円ふん)



(前方後方ふん)



(四すみと出がた  
ふんきゅうま)



(前方後円ふん)



(長方形ふん)

古ふんには、いろいろな形のものがあることが分  
かりました。四すみと出がたふんきゅうまがわたしは、気  
になりました。古ふんのことをもっと知って見てみたいで  
す。

## 4 古墳の中に行ってみました!

古墳の中が気になったので、高山奇市にある、ハまんづか古墳に行ってみました。そして、古墳の中に入ってみました。古墳は、とても大きくて高くておどろきました。古墳とは、とてもえらい人のおはかだということをはじめて知りました。くらしいの高い人のほうが古墳が大きいと聞きました。

### 古墳の中の様子



おたしか、見てきたのは左にあるふな形石棺でした。日本でも大きな石棺だということが分かりました。ほかにも長もちがた石棺や家かた石棺があるそうです。

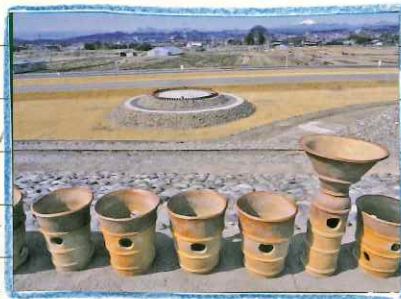
ひつぎ ふながたせっかん  
王の眠る棺—舟形石棺

頂上から内部へ降りると大きな石の棺があります。豪族が眠った巨大な棺です。

石棺展示室(博物館の休館日は閉鎖)  
見学時間 9:30~16:30

長もちがた石棺と家かた石棺をまだおたしは見えていないのでどこかの古墳の中で見てみたいと思いました。

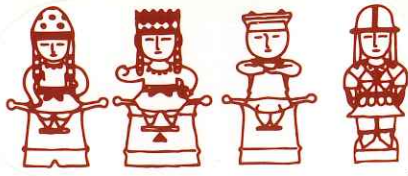
古墳のまわりには、たくさんのはにわがありました。そこでおたしは、はにわは、知っているけれど何のためにあるのかか分からないので言周べて見ることにしました。えんどうにはは言周べてみることにしました。何だかとても分からないのでおくおくして言周べてみることにしました。



はにわ  
人物・動物埴輪を並べた区画

当時の様々な儀式の様子が埴輪で表されています。宴会や狩猟の様子などの場面がみられます。

円とはにわ



# 5 はにわって一体何だろう？



はにわとは、人・馬・家などをかたどった、すやきのぞう。四世紀から六世紀ごろ日本でつくられ、身分の高い人のおはかのまわりにつくられたもの。

はにわのしゅるいは、5つあります。つつやつぼの形。かぶとやたて舟台などの道具の形。家の形。重カ牛物の形。人の形。

## こわい顔のはにわ

古墳の一番外には、たてをかまえ、こわい顔をしたへいしのはにわがならんでいきます。古墳を悪りょうから守るガードマンのはにわです。



はにわは、えらい人のおはかをも、守っていることがわかりました。はにわにわ、いっしょいしゅるいがあることがわかりました。はにわは、いろいろなひょうじょうのはにわがいることを知りました。はにわは、とてもじゅうようなやくわりがあるんだなあと思いました。さあ、てみたら、

少しざらざらしていておもしろか、たです。やさしい顔のはにわは、とてもかわいいと思いました。はにわのふくぞうは、にているけれど、少しちがうことがわかりました。はにわのポーズも少しちがうことがわかりました。



## 6 おたしの家の近くの古ふんしょうかい

おたしの家の近くの古ふんをしょうかいします。

①のおぼ山です。おぼ山の本当の名前は、もんじゅ山古ふん、あみだ山古ふんです。もんじゅ山古ふんは、とても大きいです。あみだ山古ふんは、もんじゅ山古ふんよりは、小さいです。おたしは、さいしょは古ふんなんだか分かりませんでした。でも、古ふんだと知ってからはおたしの家の近くに古ふんがあるんだなあと思いました。近くにいは、はい古ふんがあつてめずらしいと思いました。

つぎは、②の山王金かんづか古ふんです。山王金かんづか古ふんは、つばき公園にあります。その古ふんの形は、前方後円ふんです。上から見ると、し、かり前方後円ふんになっていて、おどろきました。

つぎは、③のかめづか山古ふんです。かめづか山古ふんは、木が、いは、はいありました。古ふんの形は、あまり分かりませんでした。でもかめづか山古ふんは、とても大きいです。おたしの住んでいる、まわりには、はいえらい人がいたのかもしれないと思いました。

つぎは④の天ネ申山古ふんです。天ネ申山古ふんの形は、長方形ふんです。天ネ申山古ふんは、ハまん山古ふんと、とても近いです。天ネ申山古ふんは、家の2かいふふんくらいまで、高さがあります。天ネ申山古ふんの下のところは、石がきで、できています。

つぎは⑤のハまん山古ふんです。ハまん山古ふんの形は、前方後方ふんです。ハまん山古ふんには、はにわ馬がいます。ハまん山古ふんには、たぐさの木が、うわつています。ハまん山古ふんは、天ネ申山古ふんと同じで、家の2かいくらいまであることが、分かりました。

さいごは⑥のふたご山古ふんです。ふたご山古ふんの形は、前方後円ふんです。ふたご山古ふんは、少し山になっています。ふたご山古ふんもハまん山古ふんも、りょうほう木が、はえていることも分かりました。ふたご山古ふんは、手で作られていることも分かりました。

7 おたしがかみつけのさどで見えて来物

中島は、古ふんの  
まわりに4つあり  
ました。中島は、大き  
いです。



古ふんのまわりの一ふいにえん  
とうはいおにかまされたはい  
おがありました。はいおは、  
いろいろあってカッコイです。  
はいおのまわりのえんとうは  
いおもとでもカッコイです。

おたしからのぼ、て  
きた古ふんです。  
この古ふんは、前  
方後円ふんです。  
この古ふんは、と  
ても大きか、た  
です。生まれてはじ  
めてのぼ、た古ふ  
んです。



# 8 おたしが見て来たはにわたち

馬の形をしたはにわ  
の名前は、はにわ  
馬です。はにわ馬は  
八まん山古ふんにあります。



このはにわは、とてもおもしろ  
く感じます。高さは、120cmく  
らいです。はにわにしては、と  
ても大きいです。このはにわの  
顔は、少しおもしろいので昔は、  
古ふんのまわりにはいたのか  
もしれないとおたしは、思いました。

この3つのはにわの  
顔は、少しおもしろいけど  
ち、とかおもしろいと思  
います。このはにわの高  
さは、50cmくらいだ  
と思います。3つとも  
おもしろいふくをき  
ています。3つのはにわ  
は、人間のはにわだ  
と思います。





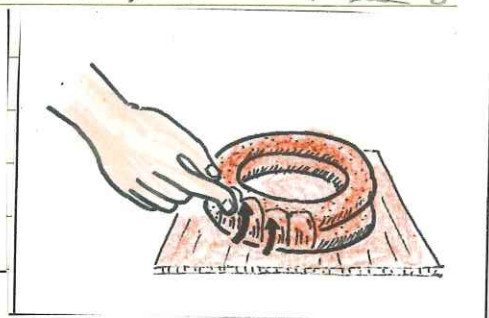
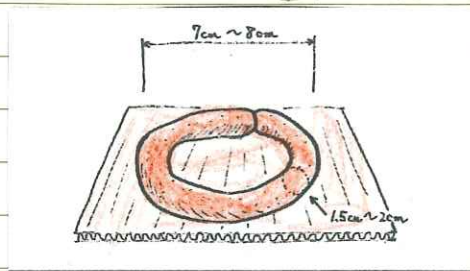
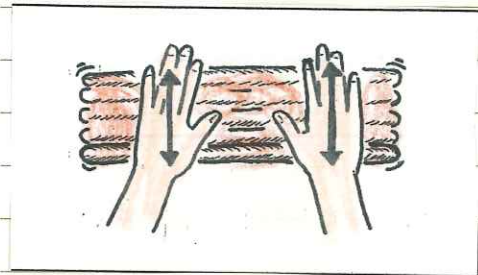
# 9 はいちの作り方



わたしは、はいちの作り方がきになたので、言周べて  
見ることにしました。

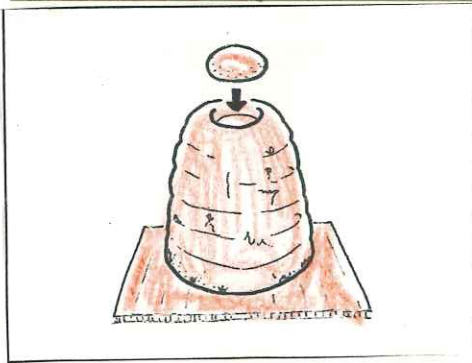
1 おん土をひもじょうに  
のばします。

2 ひもじょうのおん土をちよけい  
7cm~8cmのおにする。一たんめの土  
を、二たんめとくっつけて7回くり返す。



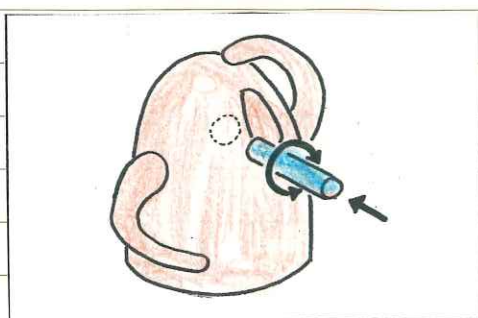
3 7たんつんでから、  
ちよけい小さくして、  
豆腐を作る。ひょう面をきれにする。

4 うではなをつける。うでは  
できるだけ2かしょでくっつけ  
る。はなが、かざりつけもする。



5 目と口を、ストローや  
竹つがななどで、あな  
をあけて作る。

## 出来あがり



10 いったところさん考ぶっけん

さん考ぶっけん

- かみつけの里
- ぐーぐる

いったところ

- あみだ山古ふん
- もんじゅ山古ふん
- 山王金かんづか古ふん
- 天神山古ふん
- ハまん山古ふん
- ニ子山古ふん